



特集

令和5年度

決算



令和5年度決算状況をお知らせします
皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

問 財政課

一般会計

歳出

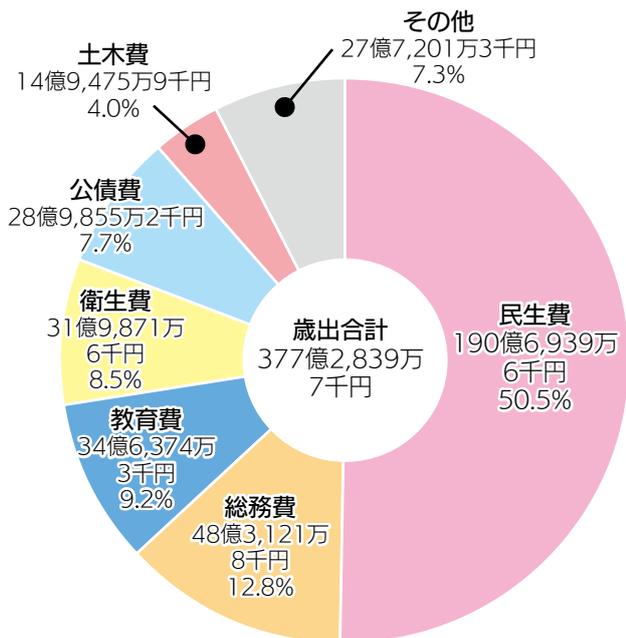
377億2,839万7千円

歳出全体としては、前年度比1億5,738万7千円(0.4%)の減少となりました。

昨年度実施された小学校トイレ改修事業の減が主な要因です。

用語の解説

- 民生費
子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用
- 総務費
行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- 教育費
教育や文化、スポーツなどの費用
- 衛生費
健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 公債費
市の借金の返済などの費用
- 土木費
道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他
議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用



基金

市全体の貯金は5年連続増加

基金は、自治体の貯金のことです。

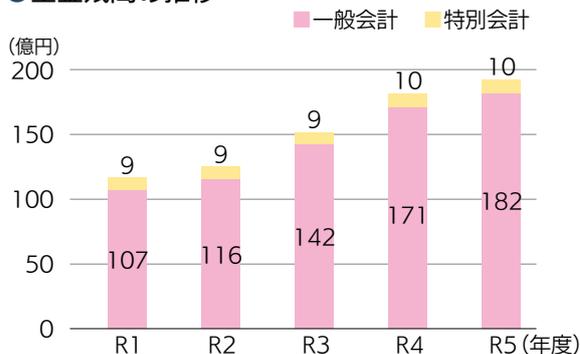
令和5年度は、財政調整基金や公共施設等整備基金などに積み立てを行ったことにより、基金の残高が約11億円増加しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

●令和5年度末残高

一般会計 182億823万円
特別会計 10億1,209万8千円

●基金残高の推移



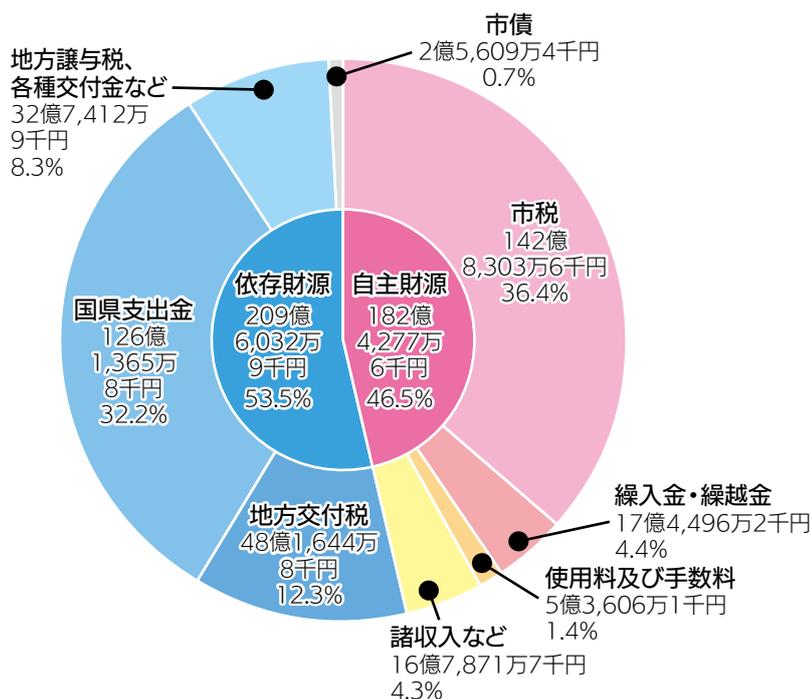


一般会計 さいにゅう 歳入

392億310万5千円

歳入全体としては、前年度比1億743万4千円(0.3%)の増加となりました。

市税収入の増加や、地方交付税の増加が主な要因です。



用語の解説

自主財源

- 市が自主的に調達できるお金
- 市税 市民税や固定資産税など
 - 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
 - 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
 - 諸収入など 発掘調査受託事業収入や広告料など

依存財源

- 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
 - 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
 - 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
 - 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

地方債

市全体の借金は約34億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

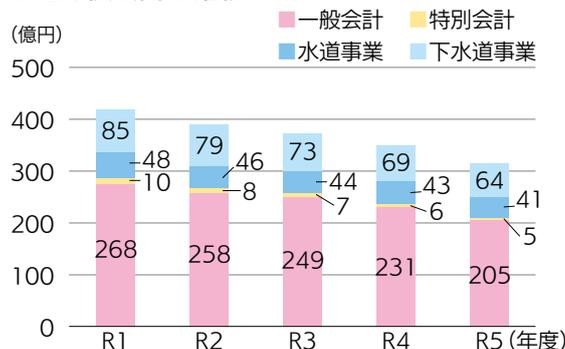
令和5年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことに加え繰上償還を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約34億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

●令和5年度末残高

一般会計	204億9,888万9千円
特別会計	4億8,636万8千円
水道事業	41億1,933万8千円
下水道事業	64億1,326万1千円

●地方債残高の推移





指標から見る筑紫野市の状況

健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和5年度の実質公債費比率は、市債の計画的な償還を行ったことで、前年度より0.9ポイント改善しました。

令和5年度は **2.7%** (前年度3.6%)



財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和5年度は、前年度より0.018ポイント減少しました。

令和5年度は **0.746** (前年度0.764)

経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、地方消費税交付金など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和5年度は、人件費や経常的な繰出金の増などにより前年度より1.7ポイント増加しました。

令和5年度は **87.7%** (前年度86.0%)

実質公債費比率の推移



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

財政力指数の推移



経常収支比率の推移





とくべつかいけい こうえいきぎょうかいけい けっさんしゅうし じょうきょう 特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	100億7,780万8千円	99億9,955万8千円
住宅新築資金等貸付事業	2,595万8千円	2,420万8千円
奨学資金貸与事業	762万6千円	534万9千円
介護保険事業	75億3,052万3千円	73億9,951万8千円
後期高齢者医療事業	28億8,973万6千円	28億3,421万7千円
農業集落排水事業	1億8,673万円	1億8,673万円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込み)

会計名	収入決算額	支出決算額	
水道事業	収益的収支	21億1,008万1千円	19億177万9千円
	資本的収支	2億8,195万6千円	8億785万3千円
下水道事業	収益的収支	23億5,811万8千円	20億7,895万8千円
	資本的収支	5億2,390万円	9億3,853万円



かみはんき ざいせい うんえい じょうきょう 令和6年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況

令和6年度の上半期(9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。

会計名	予算現額(A)	収入済額(B)	収入率 (B/A×100)	支出済額(C)	執行率 (C/A×100)
一般会計	405億516万8千円	190億7,187万7千円	47.1%	144億1,070万6千円	35.6%
国民健康保険事業	101億3,272万2千円	39億5,664万5千円	39.0%	36億3,731万3千円	35.9%
住宅新築資金等貸付事業	222万8千円	274万4千円	123.1%	0円	0.0%
奨学資金貸与事業	643万円	431万3千円	67.1%	293万7千円	45.7%
介護保険事業	77億1,030万3千円	31億4,052万9千円	40.7%	32億1,402万3千円	41.7%
後期高齢者医療事業	31億5,273万円	6億6,587万円	21.1%	13億5,373万9千円	42.9%
農業集落排水事業	1億8,623万5千円	1,431万3千円	7.7%	6,040万1千円	32.4%
二日市財産区	292万1千円	218万6千円	74.8%	8万円	2.7%
御笠財産区	2,997万9千円	26万3千円	0.9%	5万円	0.2%
平等寺山財産区	4,572万3千円	269万8千円	5.9%	6万1千円	0.1%
合計	617億7,443万9千円	268億6,143万6千円	43.5%	226億7,930万9千円	36.7%

(※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。)

- 市民の税負担状況
令和6年9月30日現在の人口 106,408人
- 財産の現在高
 - ・土地 333万291㎡(令和6年3月31日現在)
 - ・建物 23万4,706㎡(令和6年3月31日現在)
 - ・基金 192億2,592万4千円(令和6年9月30日現在)
- 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。
- 市民一人あたりの市税負担額 73,599円
(市税収入済額78億3,157万3千円に対する額)
- 市債および一時借入金の現在高
 - ・一般会計 187億7,742万3千円(令和6年度末見込)
 - ・特別会計 3億9,283万7千円(令和6年度末見込)
 - ・一時借入金(全会計) 0円(令和6年9月30日現在)

☎3467 問財政課 財政担当



実施した主な事業

政策1 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

●保育所等ICT化推進等事業 3,045千円

保育所などにおける業務のICT化を推進することにより働きやすい環境を整備するため、事業を実施する施設に対し、経費の一部を補助しました。

●生徒指導総合推進事業 36,522千円

子どもたちが抱える悩みを解消し、豊かな心の醸成を図るために、スクールソーシャルワーカーを増員しました。



▲ICT化で子どもの欠席連絡が簡単に

政策2 市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり



▲スマートフォンでの情報収集を学びます

●筑紫野中学校グラウンド夜間照明改修工事 53,787千円

劣化した照明設備のコンクリート柱・器具の設置架台を改修するとともに、照明のLED化を実施しました。

●デジタルリテラシー向上事業 3,401千円

デジタルリテラシー向上を図るため、生涯学習センターやコミュニティセンターなどでパソコン・スマートフォン講座を実施しました。

政策3 自然をまもり未来を育むまちづくり

●省エネ家電導入促進事業 42,921千円

市内店舗での省エネ性能に優れた家電製品への買い替えに助成しました。

●防犯灯補助事業 22,204千円

防犯灯をLED化するための補助制度を拡充し、LED防犯灯の新設・取り替えを実施した経費の一部を補助しました。



▲車通りの多い夜道もLED化でもっと明るく



政策4

強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

●地域活性化商品券補助事業 44,500千円

筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化に寄与するため、筑紫野市商工会が発行するプレミアム付き商品券のプレミアム分などに対し補助を行いました。

●運送事業者原油価格高騰対策事業 45,508千円

社会インフラとして重要な運送事業者の事業の継続および改善を図るため、市内で道路運送事業などを営む中小企業者に対し、支援を行いました。



▲商品券にはスマートフォンアプリのものも新登場



政策5

支えあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくり



▲整備支援で作られたグループホーム「さわやかテラス筑紫野」

●新型コロナウイルスワクチン接種事業 238,285千円

新型コロナウイルス感染症のリスク軽減を図るため、ワクチン接種を実施しました。

●地域密着型施設等整備補助事業 52,278千円

地域の実情に応じた介護サービス提供体制を構築するため、地域密着型サービスの整備に関する支援を行いました。

政策6

安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

●急傾斜地崩壊対策事業 71,733千円

過去に災害の影響を受けた筑紫小学校下の急傾斜地の崩壊防止措置を実施しました。

●防犯カメラ整備事業 2,577千円

防犯カメラを市内1箇所を設置したほか、地域団体が街頭犯罪防止を目的に設置したカメラの経費の一部を補助しました。



▲筑紫小学校下の急傾斜地を補強

政策7

政策実現のための市民目線のまちづくり



▲山口コミュニティ運営協議会が行ったもちつき大会

●ご当地ナンバープレート作成業務 1,085千円

シティプロモーションの推進や市民の郷土愛の醸成を図るため、ご当地ナンバープレートを作成し、希望者に交付しました。

●コミュニティ運営協議会補助事業 51,085千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動を支援するための補助を行いました。